



柴田 勇雄 議員

### 問 「基本計画」ないままの事業に疑問

### 答 遠くない時期に策定で検討中

**議員** 町の主要事業は、総合計画の中に盛り込み、緊急性や優先順位により、事業を実施してきた経緯にあります。

基本計画は、24年度で終了したので、これらのことを踏まえ、そう遠くない時期に策定します。向こう3年間の主要事業は、葛巻病院の改築、

基本計画の後期計画は、20年度から24年度までの計画で、「期限切れ」のまま、主要事業が行われていますが、向こう3年間の主要事業の内容は、この計画に連動する一般会計の財政運営の見通しは、

江刈簡易水道の整備、茶屋場田子線の道路改良、牧草地の除染対策、総合運動公園多目的グラウンドの改修などです。財政運営の見通しは、葛巻病院改築、消防救急無線のデジタル化改修など大規模な事業が集中するため投資的経費が高くなる見込みです。公債費は、今後も減少が見込まれます。地方交付税は、国の財政健全化対策から7%程度の減額も想定されます。

**町長** 町民の抱える不安を一つでも多く取り除き、他よりも一歩先を行き、町民が安心・安全に暮らし、この町に住みたい、住み続けたいと思う「山村のモデル」となる町づくりを目指しています。地域間競争の激化、少子高齢化、人口減少などの課題を抱えながらも、町民ニーズを的確にとらえ必要性や優先度に応じた事業展開を図ります。

各年度とも基金から2億5千万円程度の繰り入れが必要と思われるため、限られた財源の重点的で効果的な活用を図り財政の健全化に努めます。

### 問 クラブ活動 今後の対応策は 関係者の協議で 良好な状況を構築

**議員** 生徒数が減少する中、中学校の運動部と文化部のクラブ活動の実態や中高の連携策、今後の対応策は。

**町長** 平成14年の学習指導要領の改定で、必修クラブ活動は廃止され、学校の実情で課外活動の二環として行われています。



一定数の部員で競技力向上を目指すクラブがある一方、編成人数不足で単独校での大会出場ができない事例があります。このような実情から新一年生の入部者が減ってしまふことや希望するクラブに入れない課題もあり、各学校では保護者のクラブ振興協議会などでクラブ活動のあり方を協議しています。葛巻高校との中高連携では、中学校のクラブ活動の状況や保護者の意向も踏まえたクラブ配置をしています。編成人数に足りないクラブは、町内外の同様の問題を抱える学校との合同チームによる大会出場の対応をとっています。この状況が続きますが、学校と保護者の協議、スポーツ少年団指導者の助言のもと、よりよいクラブ活動の構築に努めます。

# 議会研修レポート



議会では、地域の振興発展や特定の課題を解決するため、近隣市町村議会と連携して、先進事例の研修などに取り組んでいます。その研修結果をお知らせします。

25年10月15日、岩手町・一戸町・葛巻町議会議員協議会研修会が、グリーンテージを主会場に開催され、三町の議員など約50人が参加し、葛巻町森林組合の取り組みを研修しました。本年度は、本町が開催地で、葛巻町森林組合の竹川高行参事を講師に、葛巻町森林組合の活動の講演と、町内の関連施設を視察しました。

関連施設の「薪の学校」では、廃校となった田野小学校の一部を改修し、良質な薪を製品化して、東京都などの都市部へ販売する拠点となっています。また、学校に訪れた方々に、薪ストーブの温かさや良さを体感してもらい、普及につなげています。



竹川参事から「企業の森」の説明を聞く三町議員ら

講演会では、竹川参事が「葛巻町森林組合の挑戦」と題して講演を行いました。森林資源の循環利用を基本に、森林を通じた環境づくりや企業と連携したくずまき型の「企業の森」の取り組みなど、良質な木材を生産する熱い思いを話され、森林の大切さを再確認しました。



県担当者の説明を受ける両市町議員ら

## 三町議会議員研修会

本町森林組合の取り組みを学ぶ

## 平庭トンネル早期着工 完成促進住民大会研修会

住民の願い実現に向け、新たな方策を検討

25年11月19日、森のこども館で、本町・久慈市議会、県の関係機関、担当者など約35人が参加し、国道281号平庭トンネル早期着工完成促進住民大会実行委員会の研修会を開催しました。今回の研修会は、平成14年度から住民大会を開催して平庭トンネル構想の早期実現を訴え続けてきました。が、未だ着工に至っていない状況のため、今後の方向性を検討するため開催しました。

研修会では、県の担当者から、これまでの経緯と現状の取り組みの説明を受け、県、両市町を交えて意見交換を行いました。意見交換会では「10年間早期着工を訴えてきたが実現していないことは、住民の一人として残念」、「トンネルに限らずに新たな方策の検討を模索していく時期ではないか」など多くの意見が出ました。

今後は、両市町、両議会、県の関係機関でより良い知恵を出し合い、前向きな方向性を検討するため、さらに一歩進んだ勉強会を開催することを確認しました。